

社会福祉協議会会長賞

堺市立 津久野小学校 六年

金子 咲幸

パワー

「おはようございます」

いつも橋の上に立ってくれている見守り隊のおじさん、おばさんの声だ。

私が一年生の時から、橋の上に立って毎日あいさつをしてきている。約六年間ずっと思っていたが、見守り隊のおじさん・おばさんは、

「おはようございます」

と、ただあいさつをしているだけではなく、

「学校がんばれ」

とパワーを送ってくれている気がする。

もちろん、私もあいさつをする。でも、本当のことを言えば、ただあいさつをしているだけだ。パワーなんて送っていない。

それから、私はきげんが悪いとき、声が小さくなる。

友だちと話に夢中のときなんて、言っていないかもしれない。

ある授業をするまでは、ずっとこのままだった。

でも、ある日の道徳の時間。

先生が言った。

「もらったパワーは返そう」

この言葉を聞いて、私は不安になった。

(見守り隊のおじさん・おばさんに返していない)

そんなことを後悔しても、もうおそい。

だから、私は次の日から意識することにした。

「おはようございます」

と見守り隊のおじさん・おばさんが言った。

先手をうたれたが、私は、

「おはようございます」

と、たまっていたパワーをあいさつで返した。

その日は、雨だった。でも、雨ではなく、キラキラかがやく星が降ってきたみたいだった。

私は、見守り隊のおじさん・おばさんをそんけいしている。

一人一人に気持ちをこもったあいさつをして、パワーをくれる。

私が、

「学校行きたくないな」

「テストいやだな」

と思っているとき、見守り隊のおじさん・おばさんがあいさつしてくれると、

「学校がんばろう」

「テスト百点とるぞ」

と勢いよくなれる気がする。

あいさつの

「おはようございます」

の一言で人の気持ちは変わるんだ。

形もなにもない一言が、一人一人に元気を与えられるってすごい。

もし、一人一人がパワーをこめてあいさつをしていたら、どれほど世の中が明るくなるんだろう。

あいさつは人を元気にする一番簡単なプレゼント。

いつもパワーをくれる、見守り隊のおじさん・おばさん、そして、家族や先生に。

パワーをこめて、

「おはようございます」

